

当園ではこの度、令和4年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び関係者評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

一人ひとりの幼児を大切に、心の豊かさ・明るさ・秩序責任、土と風と太陽に親しみ、より丈夫な身体を育成し21世紀の社会に貢献し得る人格の基礎づくりを指導しています。

- 協同と自主自立の精神を養う
- 豊かな情操と感覚を養う
- 創造性と思考力を養う
- 健康で明るく、心の豊かさを養う

II. 今年度の重点目標

- 教職員の育成
- 子ども達への指導とかかわり
- 教員同士の情報共有
- 防災訓練の質の向上
- 安全管理体制の強化
- 地域の未就園児親子を対象とした育児支援の充実

III. 評価項目と取組み状況

評価項目	具体的確認項目	取組み状況
1 教職員の育成	研修などから得た知識を互いに共有し、実践に取り入れて園全体としての保育スキルの向上を目指す。	B <ul style="list-style-type: none"> ・研修に行くことができています。 ・研修に行くことで不足してい知識があるのでスキルが上がって良い。 ・例えば発達支援に関して学び自分のクラスの子ども達に対しての関わりを意識することができている。
2 子ども達への指導とかかわり	子どもたち一人ひとりの成長に合わせて、教職員全員が柔軟に対応し声掛けに取組んだり、遊びを充実させる等の工夫をしていく。	A <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングでの情報共有で子どもたち一人一人の様子を知り、柔軟に対応し声かけが出来ている。 ・毎日のミーティングで各クラスの出来事を報告することができている。 ・子どもに合った声かけを考えて取り組めたように思う。
3 教員同士の情報共有	教職員同士で意見交換の場を確保するように園全体で努め、教職員間の意思疎通を円滑なものにし情報を共有していく。	A <ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティングで情報の共有をしている。 ・職員が個人的に分からないことはミーティングを通して聞くようにしていた。 ・個人的に聞いたことでも、他の職員に伝えるように意識していた。

評価項目		取組み内容	取組み状況
4	防災訓練・質の向上	子どもたちの防災意識を高めるため、災害発生に備えた準備や防災に対する知識の習得や子どもたちへの指導方法、また避難方法を再度園内で見直していく。	A <ul style="list-style-type: none"> 子ども達と災害についての話をしたり、月に一度の避難訓練を実施している。 毎月の防災訓練で災害に応じた避難方法を伝えることができています。 避難の仕方は子供もよく理解していたし、職員も素早く行動ができていた。
5	安全管理体制の強化	遊具使用時は教職員が必ず付き添うこととし、園内の点検箇所とルールを定めて園全体で安全管理に努める。	A <ul style="list-style-type: none"> 遊具使用時に教職員が付き添うことで大きな怪我（切れて縫う、骨折など）を防ぐことが出来ている。 外遊びでは必ず教職員が外に出て危険がないかを見守ることが出来ている。 大きな怪我が起こりその後の対応について全員で確認をした。 今後も子供達だけで遊ばせることがないよう、徹底を呼びかけていた。
6	地域の未就園児親子を対象とした育児支援の充実	より多くの方々に来園いただけるような取り組みを実施し、園の魅力を地域へ継続発信していく。	B <ul style="list-style-type: none"> 園庭開放の実施を行った。 園庭開放や夏祭りなどで外部との交流がある。 保育所との連携も増えてきている。

【評価の基準】

S	十分達成されている
A	達成されている
B	取組まれているが、成果が十分でない
C	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1	教職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> 研修で得た知識を共有する場を作っていくこと。 行事との兼ね合いで研修に参加できていなかった職員についても研修に参加し知識を得ていく。 知識を全員に共有できていないこともあるので、そのような場を作り職員同士がアドバイスできるようにしていく。
2	子ども達への指導とかわり	<ul style="list-style-type: none"> より一人一人の子どもの成長に合わせた指導ができるよう園全体で情報を共有し工夫する。 もっと子ども達がたくさん遊べるような玩具を増やしていく。 他のクラスに関する理解が十分ではないため、フリーの先生等も活用し情報の共有をするべきである。
3	教員同士の情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換が気軽にできる様に普段から会話を増やす。 引き続き情報の共有やミーティングの場を大切にす。 先輩の先生達だけで話をし、後輩には共有されていないことがあるため、全員で話を共有する場を作りたい。
4	防災訓練・質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 知識はあるものの、防災訓練の日に話だけで終わってしまう日もあるので年間を通して非難する日を増やす。 子どもたち一人一人がより災害について知識を得て、自分を守る方法を身に付ける。 各部屋に防災の防止を置くことでさらに防災の質を向上させることができる。
5	安全管理体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の立ち位置を決める（日によって違うため）。 持ち場を離れる時には他の職員に声をかけて死角が無いようにする。 安全管理に努めていても怪我に繋がることはあるため、日々の点検や見守りを怠らない。 滑り台や鉄棒など、みんな何となく分かっているルールを明確にすると良い。
6	地域の未就園児親子を対象とした育児支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> コロナ渦により実施できていなかった行事等の再開や見直しにより、地域との交流を増やしていくことができればと思う。

V. 学校関係者の評価

<p>職員の知識の向上のための研修の参加や情報共有についてはしっかり行っているように見受けられる。しかしながら、園全体での共有にまでは至って無いようも思われるため、今後も保育の質を高めていくためには園全体で施策園内での施策に努めて頂きたい。また女性の教職員が多いことからライフイベント（妊娠・出産）の影響を考慮した人員計画を上手く立てていけるかどうか等の職員の処遇についても対策を施していくことが良いのではないかと考えられる。</p> <p>外部環境としては、新型コロナウイルスの影響が小さくなってきているため、様々な行動の制限も無くなってきている。これにより、今まで実施できていなかった、研修や行事、イベント等の再開等の見直しも検討し、外向けの発信も増やしていきたい。</p>

以上